

【取組内容】 学習支援ソフトを活用した自己調整型学習

6 学年社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」

本実践では、学習支援ソフトを活用した自己調整型の学習を取り入れた。児童は個人の学習計画を立て、自分が興味をもって調べたいと思った内容を選択し、学習進度を調整して、個々に調べ学習を進めていった。個々に調べたことをまとめる児童もいれば、グループで相談しながらまとめている児童もいた。児童が様々な学習方法を選択できることで、主体的に学べる場となった。各時間の最後のふり返りの時間には、本時の学びを再確認したり、次時の学習計画の調整をしたりして、お互いが学習したことや学習の進め方を共有することができた。

